

生活 町大すき

2年2組
授業者 塚本 恵美子

■ 単元の目標

- 自分の町を探検し、そこに暮らす様々な人、自然、場所などに関心をもち、進んで関わろうとする。(関心・意欲・態度)
- 様々な人、自然、場所、出来事について、工夫して表現し、伝えることができる。(思考・表現)
- 町の人々や自然、場所などと関わることをとおして、町のよさに気づくことができる。(気づき)

■ I C T 活用の視点

○ 学習効果を高めるための I C T 活用

探検したことをコンピュータでまとめ、また、情報を表現する方法としてプロジェクトや実物投影機を用いる。その結果、分かりやすく紹介することができ、さらに、写真やビデオを使用することで、聞く側も興味・関心が高まるものと考える。

○ 課題を調べる道具としての I C T 活用

探検したことの中で、さらに調べたいことに気づき、インターネットを活用して調べることができる。

■ 本時の授業の概要

本単元は、子どもたちにとって身近な地域の様々な場所へ出かけて行き、そこでいろいろな人と接していくことで「町のよさ」に気づき、愛着がもてるようになることをねらいとしている。また、この活動をとおして、見つけたり、聞いたり、気づいたりしたことを自分なりの方法で表現し伝えることができるようにしていきたい。その方策として I C T を活用していく。

本時の学習では、まとめや伝達の道具として、コンピュータやデジタルカメラを活用する。相手に町のよさが伝わるように、工夫しながら、効果的に分かりやすく表現できるようにしたい。

本時の目標

町たんけんで出会った町の人々や場所との関わりを振り返り、気づいたことや発見したことを工夫しながら伝え合うことができる。

学習活動	指導上の留意点
1. 本時のめあてを確認する。	本時の活動内要を確認し、めあてをもって意欲的に活動ができるようにする。 町の大すきをしようかいし合おう。
2. 自分たちで見つけた町の大すきをしようかいする。 • ポスター • 新聞 • テレビ番組 • 紙芝居 • ペーパーサート • パネルシアター • クイズ	グループごとに思い思いの方法で、発表できるよう、準備物等の用意を支援する。 自分が見つけたことや感じたことを相手に伝えるため、声の大きさや表現などを工夫するように助言する。
3. 分かったことや感想を発表する。	グループの中で協力し合いながら発表できるようになる。
4. 本時の活動を振り返り、次時の活動内容を話し合う。	感想を伝え合うことで、自分や友達の活動や表現のよさに気づくようにする。 次時は本単元のまとめをすることを確かめる。